

## 第4学年 国語科学習指導案

1 単元名 材料の選び方を考えよう（光村4年下）

2 教材名 「アップとルーズで伝える」  
「四年三組から発信します」

3 単元について

(1) 教材や指導価値について

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の2領域を関連づけた学習ができる複合単元の構成になっている。読むことの教材「アップとルーズで伝える」で読み取ったことを生かし、書くことの教材「四年三組から発信します」で取材したことを、意図に合わせ選材し発信していく学習活動へつなげていくことをねらいとしている。

第1教材「アップとルーズで伝える」は、テレビの映像技法を中心に述べられたもので、児童にも身近に感じられる内容である。また、内容が対比的に書かれていて分かりやすい上、段落構成・キーワードや中心文・要約などの学習にも適している。第2教材「四年三組から発信します」は、自らが情報の発信者となり、身の回りの事柄について情報の収集・選材・発信までの活動を行う。特に、関心を持ち取材する対象が多岐に亘るので、集めた情報の中から相手や目的に合うものを選ぶことに焦点をあてて学習を進めることが可能である。

本単元は、情報活用単元として、特に伝えるための材料を選ぶというところに焦点化して構成されている。児童は、第1教材で学習したことを踏まえて、情報の収集から発信までを意欲的に体験することができると思う。

(2) 児童の実態

児童は、「読むこと」の学習として、三年上の「ありの行列」では段落という概念を学び、四年上の『かむ』こと力では段落相互の関係について学習している。これらの学習を通して、繰り返し出てくる言葉や題名に関係のある言葉に注目しながらそれぞれの段落の内容を簡潔にとらえることにより、記述された内容を的確に理解することができるようになってきた。また、段落相互の関係に目を向けることで、文章全体の構成もとらえることができるようになってきた。

また、「書くこと」の学習として、三年下「食べ物がかせになろう」では主に本で調べたことをまとめ、四年上「新聞記者になろう」では取材したことのまとめ方を工夫することを学習している。これらの学習により、調べて書く必要がある事柄を収集・選択して書くことができるようになってきた。また、「読むこと」の学習で学んだ文章構成を生かして書くことを意識するようになってきた。

(3) 指導の構想

指導にあたっては、まず「読むこと」の学習では、要点に当たる部分を抜き出し、それらに対比的にとらえながらそれぞれの伝え方の長所・短所を明確化させる。その際、ワークシートを用いることによりそれぞれの特徴を視覚的にとらえやすくする。また、文章の記述が単純で明快なので、一斉での作業と自力による作業を組み合わせながら、読み取る力を高めていきたい。

次に、「書くこと」の学習では「読むこと」の学習で学んだことを生かして、調べたことを伝える際の工夫に着眼させて学習を進める。まず、児童自らが写真を撮影することにより、学習意欲を喚起するとともに取材すべきことを明確化させる。そして、様々な方法で取材した事柄と写真を見比べさせることで、伝えたいことが部分を焦点化した内容（アップ）なのか、全体に関する説明（ルーズ）なのかを判断させながら選材の作業を体験させる。さらに、相手意識をはっきりもたせることで、書き留めた言葉をより分かりやすく書き換える作業の大切さに気づかせ、よりよい伝え方を身につけさせたい。

#### 4 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	・ 伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分が表現していくときに役立てる。	・ 知らせたいことを決め、必要な材料を集めて読み手が分かりやすい文章を書こうとしている。
読む能力	・ それぞれの段落が文章全体の中でどんな働きをしているのかを考えながら読むことができる。(イ) ・ 写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。(オ)	・ それぞれの段落が文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえている。 ・ アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読んでいる。
書く能力	・ 取材した事柄を相手に応じて分かりやすく書いて知らせることができる。(ア) ・ 書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。(イ)	・ 取材したことを相手に応じて分かりやすい言葉を使って書いている。 ・ 相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。
言語についての知識・理解・技能	・ 文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解することができる。(オ) ・ 文章全体において文と文の意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使うことができる。(オ)	・ 段落の中心やつながり方に気をつけて文章を読み、段落のまとめりと役割を理解してとらえている。 ・ 文章全体において文と文の意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使っている。

#### 5 単元指導計画(17時間)

- (1) 「アップとルーズで伝える」を読んで、それぞれの段落が文章全体の中でどのような働きをしているかをとらえる。 ----- (6)
- ・ 全文を読み、段落分けをし、学習の計画を立てる。 ----- 1
  - ・ 新出漢字や難語句の学習をする。 ----- 1
  - ・ アップとルーズとはどういう写し方のことか、読み取る。 ----- 1
  - ・ アップとルーズ、それぞれの違いを読み取る。 ----- 1 (1校時)
  - ・ 新聞やテレビでも目的に応じてアップとルーズを使い分けていることを読み取る。 ----- 1
  - ・ 段落のまとめりを考えながら段落構成図にまとめる ----- 1
- (2) 「四年三組から発信します」を読んで、自分が伝えたいことについて情報収集・選択し、書きたいことを明確にして書く。 ----- (10)
- ・ 全文を読んで、伝えたいことをどのように書いているか読み取る。 ----- 1
  - ・ どんなことを調べ、紹介するのか考える。 ----- 1
  - ・ 題材を決め、取材する。 ----- 3
  - ・ 集めた情報を取捨選択し、アップかルーズかを意識して構成メモをつくる。 ----- 1 (2校時)
  - ・ 伝えたいことが読み手に分かるように書く。 ----- 2
  - ・ 下書きを読み合い、推敲する。 ----- 1
  - ・ 清書し、仕上げる。 ----- 1
- (3) 学習のまとめをする。
- ・ 情報を発信し、互いに評価し合う。 ----- (1)

6 本時の指導について

(1) 本時の目標

要点に関わる部分を抜き出し，アップとルーズの違いを読み取ることができる。

(2) 本時の評価規準

課題解決の手がかりをもとに，アップとルーズについて伝えられることと伝えられないことにサイドラインを引き，抜き書きしている。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 アップとルーズのちがいについて読み取ろう。	・ アップとルーズの写し方について確認する。 ・ 課題を書き終えた子には，微音読をさせる。	学習課題をとらえている。(観察)
展開 (35分)	3 段落を音読する。 4 段落ごとに読み取る。 (1)アップについて読み取る。 ・手がかりをもとにサイドラインを引く。 ・ワークシートに抜き書きする。 ・読み取ったことを確認する。 (2)ルーズについて読み取る。 ・段落を読み，サイドラインを引き，抜き書きする。 5 アップとルーズの違いについてまとめる。	・ 各段落毎の内容を大まかにとらえさせる。 ・ 課題解決の手がかりを確認する。 ・ 「分かること」「分からないこと」を整理して，ワークシートに抜き書きさせる。 ・ 段落と同じような構成になっていることに気づかせ，アップと対比させながら考えさせる。 ・ 「このように」という言葉から，段落をまとめていることと，「伝えられること」「伝えられないこと」という表現に気づかせる。 ・ 目的に応じて使い分けていることをとらえさせる。	具体的評価規準 (A)よく分かることと分からないことを抜き書きしている。 (B)よく分かることを抜き書きしている。 (Cへの支援)手がかりをもとに教師と一緒に考えて抜き書きさせる。
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返る。 7 次時の学習内容を確認する。	・ 自己評価させる。 ・ 次時は，7・8段落を読み取ったことを知らせる。	観点に沿って自己評価をしている。(挙手)

小学校4年（書くこと）2校時

学 級 4年4組 男子20名 女子20名 計40名  
指導者 市野川 淑子

7 本時の指導について

(1) 本時の目標

取材したことを整理し、アップとルーズの観点から作文メモを作ることができる。

(2) 本時の評価規準

取材したことを整理し、自分の観点到に合わせて作文メモを作っている。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と学習内容	指導上の留意点	評 価
導入 (5分)	1 前時までに材料集めをしたことを想起する。 2 本時の学習課題を把握する。	・ アップとルーズの写真をもとに調べたことを想起させる。 ・ 伝える相手に合わせて、調べたことを整理し、作文メモを作ることを確認させる。	○ 学習課題をとらえている。(観察)
	知らせることを選び、自分の写真に合うように作文メモを作ろう。		
展 開  (35分)	3 アップ・ルーズのどちらかの写真を選び、伝え方の工夫を確認する。 ・ 必要なことを選ぶ ・ 難しい事柄を取り上げない ・ 分かりやすい言葉で書く(やさしい言葉に置き換える) 4 例文をもとに全体で練習する。 5 自分の作文メモを作る。 ・ 伝え方の工夫をもとに取材メモを整理する。 ・ 伝え方の工夫をもとに、やさしい言葉に置き換える。	・ 自分の知らせたいことを明確化させるために、アップかルーズの写真を選択させ、学習計画時に教材をもとに確認していた「伝え方の工夫」を再度確認させる。 ・ 取材メモの例文を使って整理の仕方を確認させる。 ・ 伝え方の工夫をもとに、自分の取材メモを取捨選択させながら整理させたり、難しい言葉は国語辞典を使って分かりやすく表現させたりする。	○ 伝え方の工夫を理解している。(挙手・観察)  ○ 具体的評価規準 (A) 伝え方の工夫をもとに自分の観点到に合わせて整理し、作文メモを作っている。 (B) 伝え方の工夫をもとに自分の観点到に合わせて作文メモを作っている。 (Cへの支援) 教師と一緒に必要なことを選び、難しい言葉を見つけさせて国語辞典で調べさせる。
終末 (5分)	5 本時の学習を振り返る。 6 次時の学習内容を確認する。	・ 観点到に沿って自己評価させる。 ・ 作文メモをもとに下書きを書くことを知らせる。	○ 観点到に基づき自己評価している。(挙手・ノート)